

杉戸町々々拾遺録

温古知新
杉戸の歴史をばれ話
第7回

東部地区文化財担当者会40周年記念リレー展示

「都鳥が見た古代」

華やかな十二単をまとった貴族や壮麗な宮殿——私たちが平安時代と聞いてまず思い浮かべるのは、そんな華やかな情景かもしれません。しかし、庶民はその時代をどう生きていたのでしょうか？ 埼玉県東部地区文化財担当者会40周年記念リレー展示「都鳥が見た古代」では、その素朴な疑問に迫ります。

この展示は、奈良時代から平安時代にかけての歴史を、行田市、羽生市、加須市、久喜市、幸手市、杉戸町、宮代町、白岡市、蓮田市、春日部市、越谷市、松伏町、吉川市、八潮市、三郷市を含む埼玉県東部15市町を舞台に、貴重な出土品やパネル展示を通して紹介するものです。特に平安時代の庶民の生活に焦点を当て、彼らがどのように食べ、どのような住居で暮らし、どんな仕事に従事していたのか、現代の私たちが見逃しがちな日常生活の様子を掘り下げます。資料館を持つ市町では、実際に当時使用されていた土器や金属製品などの出土品が展示され、古代の暮らしを身近に感じることができそうです。



杉戸町で発見された古代の土器

「古代」という言葉は、時代区分上で中世や近世に対して用いられる比較的古い時代を指しますが、考古学の分野では主に奈良時代から平安時代までを指します。奈良時代は和銅3年（710年）、都が平城京に移され、仏教文化が隆盛を極めた時代で、天平文化としてその名を残しています。一方、平安時代は延暦13年（794年）に都が平安京に移されてから約400年間も続き、和歌や物語が花開くとともに、日本文化が大きく飛躍した時代でもあります。展示のタイトルにもある「都鳥（みやとり）」は、平安時代の和歌によく登場する鳥で、都の情景を象徴しています。この展示会を通じて、歴史教科書で見た平安時代をより身近に感じてみませんか？ 杉戸町での展示は9月29日をもって終了しましたが、令和7年度末まで、埼玉県東部の各市町を巡回します。ぜひお近くの会場で、この貴重な機会をお楽しみください。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

人気コーナー すくすくリニューアル

わが家のアイドル

対象 ●就学前の町内のお子さん
●ご家庭で飼育しているペット（新規！）
応募方法 電子申請、郵送、窓口持参のいずれかで必要事項を記入し写真を添えて応募

掲載された方には**特製カード**をプレゼント！皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

もり ゆづき
森 優月ちゃん
令和4年4月28日生

いつも
元気いっぱい！
これから
すくすく
成長してね。



なぐら
那倉 ラギーちゃん
令和2年4月30日生

元気に
長生きしようね！



詳しくは
こちら▼



QRコードから
簡単応募！▼



UD FONT
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン
(UDフォント)を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE